

# 自殺対策 シンポジウムシリーズ 「つながりを信じて」

～ひとりでも多くの人に伝えたいことがある～



自殺対策セミナー 2009年 11/3(火・祝)  
「借金なんかで死ぬな!」

シンポジウム I 2010年 1/17(日)  
「自殺未遂～自殺の危険が最も高い人々 救急医療はどう対応するか?」

シンポジウム II 2010年 2/11(木・祝)  
「自殺対策:宗教者に何を求めるのか? 宗教者は何ができるのか?」

シンポジウム III 2010年 3/13(土)  
「自殺対策のためのネットワーク～つながりを信じて」

全シンポジウム ● 入場無料 ● 定員150名

自殺者(自死者)が年間3万人を超える事態が11年連続しています。その数は一向に減る兆しが見られません。私たちは、自死の泥沼から人々を救うために多くの人がつながっているネットワークがあって、そのネットワークがいろいろな角度から救いの手を差し伸べてくれる、ということが、自死対策の大切なキーポイントであると考えています。シンポジウムを実施することで、自殺対策のネットワークがさらに力強くなり、一人でも多くの人を救うことができると願っています。

©仙台グリーフケア研究会 代表/清川明男

解決への道があります。支えあう力があります。



2009年度  
厚生労働省  
自殺防止対策事業

主催: 仙台グリーフケア研究会 ● お問い合わせ/仙台グリーフケア研究会事務局(高橋) TEL.080-3326-5612

[www.sendai-griefcare.org](http://www.sendai-griefcare.org)

◎共催/藍の会、仙台的のちの電話、仙台青葉学院短期大学、自殺対策リボン委員会、(社)日本産業カウンセラー協会東北支部、ふくしまれんげの会  
◎後援/宮城県、仙台市、仙台商工会議所、宮城県宗教法人連絡協議会、(社)仙台仏教会、曹洞宗宮城県宗務所、曹洞宗宮城県布教師協議会、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県看護協会、仙台弁護士会、宮城県司法書士会、東北文化学園大学、河北新報、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞、NHK仙台、東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、東日本放送

\*仙台グリーンケア研究会主催

# 自殺対策シンポジウムシリーズ 「つながりを信じて」

～ひとりでも多くの人に伝えたいことがある～



## 自殺対策セミナー「借金なんかで死ぬな！」

◎日時／2009年11月3日(火・祝) 13:00開場、13:30開始、16:30終了

◎場所／仙台サンプラザ「青葉の間」

◎講師／吉田猫次郎氏(猫研代表)、及川雄介氏(及川法律事務所)、他

〔内容〕

借金で追いつめられた人へのメッセージ。「腹をくくれ。解決方法を学べ。」多重債務は、必ず解決します。

借金問題に詳しい2名の講師の講演のほか、借金で大変辛い日々を経験された方々にもお話しいただきます。

関連シンポジウム

## 自殺対策シンポジウム「気づきから守るいのち～うつ病が予防できるまちづくり～」

◎主催／仙台市 ◎日時／2009年12月20日(日) 13:30～16:30 ◎会場／仙台サンプラザ

◎お問い合わせ／TEL 022-214-8198、Eメールfuk005520@city.sendai.jp

## シンポジウム I 「自殺未遂～自殺の危険が最も高い人々 救急医療はどう対応するか？」

◎日時／2010年1月17日(日) 13:00開場、13:30開始、16:30終了

◎場所／仙台サンプラザ「ローズ」

◎講師／河西千秋氏(横浜市立大学医学部精神医学)、三條克己氏(岩手医科大学精神科)、設楽恵子氏(東北大学救命救急センター 救急看護認定看護師)、野呂雅人氏(仙台市立病院 精神保健福祉士)

◎コーディネーター／亀山元信氏(仙台市立病院 救命救急部長)

〔内容〕

自殺未遂に対して、救急現場はどう対応するのか? 身体科と精神科の連携、現場のスタッフの対応のノウハウ等について考えます。講師陣が日頃接している現場の状況に即した話を聞くことができます。

## シンポジウム II 「自殺対策：宗教家に何を求めるのか? 宗教者は何ができるのか?」

◎日時／2010年2月11日(木・祝) 13:00開場、13:30開始、17:30終了

◎場所／ホテルモントレ仙台「ルツェルナ」

◎講師／藤澤克己師(自殺対策に取り組む僧侶の会代表、浄土真宗本願寺派安楽寺住職)、袴田俊英師(心といのちを考える会会長、曹洞宗月宗寺住職)、藤崎義宣師(日本キリスト教団久が原教会牧師、臨床心理士、CMCC理事)、氏家鴻堂師(命と心を考える市民の会、曹洞宗城皇寺住職)

◎コーディネーター／奥野昭典師(曹洞宗宮城県布教師協議会、石巻市広瀨寺住職)

〔内容〕

年間自殺者3万人の日本の現実。宗教者はこの現状をどう捉えているのか。宗教者は自殺対策として、何が求められているのか? 何ができるのか? 宗教者が模索するネットワークづくりとは?

◎当日、シンポジウムに先立ち、歌う尼さん・やなせななさんのミニコンサートを予定しています。

## シンポジウム III 「自殺対策のためのネットワーク～つながりを信じて」

◎日時／2010年3月13日(土) 13:00開場、13:30開始、16:30終了

◎場所／ホテルモントレ仙台「ルツェルナ」

### 〔第1部 対談〕

◎講師／田中幸子氏(全国自死遺族連絡会代表)、滑川明男(仙台グリーンケア研究会代表)

◎コーディネーター／寺島英弥氏(河北新報)

### 〔第2部 ディスカッション〕

◎参加者／これまでのシンポジウムに参加された方々など。

〔内容〕

- 1)「わかちあいの会」とは、どんなことをする会なのか? その目的は何か? 遺族自らがやっている「わかちあい」と遺族でないボランティアによる「わかちあいの会」に違いは有るのか?
- 2)これまでのシンポジウムで議論されて来たネットワークを振り返り、ネットワーク同士のつながりについて考えます。これまでのシンポジウムに参加された方々などを交えての討論会を予定しています。

アンケート等の結果も紹介し、討論します。

